

Handsome

発行人 鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 松本 啓 編集責任者 柴谷 政司 印刷所 東京印刷(株)

忘年例会ハンマープライス



【市政の課題】

米子市議会議員

齊木 正一 (第18期卒)

昨年12月の西部青年中央会の忘年例会にOB会員として出席し、そこで原稿寄稿の権利を頂きました。私も市政に参画させて頂いて3期目の折り返しの年に当たる良い機会でもありますので市政報告をいたします。

1. アジアと環日本海の時代

21世紀を間近に控えた今日、東西冷戦構造の終焉とともに国際社会は大きく変革し、とりわけ将来の発展の可能性を秘めたアジア地域に世界の目が向けられており、我が国も日本海新時代に入り、その対応が迫られています。

国内においては長引く景気の低迷で、足踏み状態が続いており、その中において行財政の大改革、東京一極集中の是正、地方の自立と地方分権の推進、日本海国土軸の形成、西日本中央連携軸の推進など、国土の均衡ある発展を実現するための取組が活発化してきています。

また、少子化、高齢化の急速な進行、環境保全に対する関心の高まりなど社会情勢は大きく動いています。

このような国内外の新しい時代潮流の中で、米子市を中心とした中海圏域は、環日本海交流の西の拠点として重要な役割を持っています。特に米子市は、本年は市制70周年の節目の年に当たり、各種記念事業や行事を通して活性化を図り、また同時に山陰夢みなど博覧会が開催されますので、その成功に向けての万全なる取り組みも重要であります。

2. 行政の簡素、効率化

中海圏域の中核都市である本市は、昨年第6次米子市総合計画を策定し、21世紀時代を見据え、将来都市像を実現するため、10年後を見定めた施策の大綱と計画・目標を定めています。

今後ますます多様化、複雑化する市民要望に応え、市民の福祉向上を実現するためには、柔軟な行政運営と地域の特性を生かしたきめ細かな施策が重要であります。

地方財源が十分確保されない厳しい行財政環境の中で、施策の計画実施に当たっては、昨年策定された新たな行政改革大綱に沿った行政システムの簡素、効率化を図り、限られた財源の重点配分と経費支出の効率化に徹して、行財政運営に努めることが強く求められています。

3. 主な課題

- ①「鳥取県中海圏域地方拠点都市地域」の基本計画を鳥根県の地方拠点都市地域と連携を図り、早朝に実現すること。
- ②環日本海時代に備えた新しい国土軸や西日本中央連携軸の構築を促進する。国際化に対応した基盤づくりと経済、文化、スポーツ交流等、国際交流を図り相互理解に努める。
- ③地方分権を推進し、市町村合併を働きかけること。
- ④中海の水質浄化対策を中海圏域の市町村が連携、協力して努力する。特に公共下水道、農業集落排水事業を強力に促進する。
- ⑤崎津工業団地の住宅用地やレジャー施設用地、FAZ関連企業等への有効利用を積極的に図る。
- ⑥農業は食糧の安定供給の役割と国土保全や、良好な自然環境の維持などに、重要な役割を果たしている担い手農家の育成と、特産物の振興や生産基盤の整備に努める。
- ⑦流通業務団地を初めとする工場適地の造成と、産・学・官共同体による新技術開発で、地場産業の振興と優秀技術先端型産業などの企業誘致により、若者の定着化を図る。
- ⑧米子駅南北の一体化を図り、駅南口の新設と駅南地区の開発に取り組み、米子コンベンションセンター完成に伴う交通渋滞解消のための交通体系の整備など、米子駅周辺の近代化を推進する必要があります。

その他、福祉・教育問題などまだまだ多くの課題がありますが、紙面の都合で割愛させていただきますが、これらの諸施策に今後とも積極的に取り組んで行く所存でありますので、どうぞよろしくお願いいたします。

なお、本年6月議会より、本会議の様態をテレビ中継する予定ですので、一段と議会が身近なものになるのではないかと期待しています。

それでは、会員の皆様のみまますのご隆昌とご多幸を祈念して報告とさせていただきます。

ご協力ありがとうございました。

西部青年
中央会

テレビにて中央会アピール!

正月中海テレビ放映番組「新年にあたり」

年末も暮れおし迫った12月30日、中海テレビスタジオにてあの番組の収録がおこなわれました。1月1日元旦と1月4日、中海テレビパブリックアクセスチャンネルで放映されたあの番組である。御覧になられた会員の方もたくさんおられることと思いますが、あの番組とは、西部青年中央会の『新年にあたり』という番組です。出演者は松本会長・赤石副会長・宮廻副会長・藤居市民会議会長の4名、スタッフは日次委員長と谷口委員長を中心として、地域ビジョン委員会と情報メディア委員会のみなさんが担当され、すべて手作りの番組です。この番組は、『中央会の存在、活動を広く市民に知ってもらい、しいては新入会員の入会につなげる。』『番組制作スタッフとして会員自ら情報発信をおこなう。』『夢みなど博の中継放送のシステム等を理解する。』を目的とし、内容は『中央会の説明・活動紹介・平成9年に向けての抱負と活動テーマ』である。

技術スタッフが打ち合わせしている間、出演者のみなさんも別室でやはり打ち合わせをされていました。松本会長「落ち着いたものです。司会の宮廻副会長にかかっています。」赤石副会長「95%宮廻副会長にかかっています。」藤居元会長「市民会議会長できています。」宮廻副会長「これはどうなるやら全くわかりません。」とのことでした。そして技術スタッフの皆さんがふだん



見たこともないようなすごく真剣な表情で、カメラの練習をされていました。たぶんみなさん初めての体験だったことでしょう。

PM 3:30 いよいよ本番収録です。出演者が緊張の面持ちで席につきます。司会進行役の宮廻副会長が「明けましておめでとうございます。」の第一声でスタート、番組紹介、出演者紹介、中央会紹介とまるでNHKのアナウンサーを思わせるような、とおった声の落ち着いたしゃべりで進んでいきます。続いて松本会長の挨拶、赤石副会長の各委員会の紹介、藤居市民会議会長より夢みなど博への市民会議の取組と、みなさんさすがにおちついて全く失敗もなくエンディングとなりました。終了と同時に拍手がわきおこり、時間も予定どりの30分。本当に出演者とスタッフのみなさんお疲れさまでした。

最後に、今回の番組収録が夢みなど博の衛星生中継番組へとおいにいかされることを期待しております。

1 月例会報告

(担当/指導力開発委員会)

1月21日(火)平成3年以來の大寒波の影響で雪や強風の吹き荒れる中、サンシャイン平安閣に於いて、会員の御家族、会員企業の社員の方々にもご出席いただくオープン例会として1月例会が開催された。松本会長挨拶の後、多数の連絡・報告事項があった。中海テレビ放送で元旦、4日、23日に放送された中央会の番組についての報告。長谷川(義)会員の鳥取転勤による退会の挨拶。原田会員、藤森会員よりそれぞれの謝辞。また中津尾会員(旧姓門脇)より改姓ににあたっての挨拶が行われた。

今月は、(医)サン・クリニック親子人間学研究所所長、岡山総合福祉専門学校講師、親業インストラクターの平川洋児氏を講師に迎え、「心にひびくリーダーシップ 職場と家族の人間関係」というテーマでご講演いただいた。時折、野村監督のイチロー対策や野村監督の現役時代のエピソードなどの話もありまぜながら楽しく講演がすすめられて行った。まず、スキップの大事さを説明され、握手する、言葉を交わす、どちらも円滑な人間関係を形成していく上で非常に重要であることを指摘された。最近、子供を持つ親から沢山の相談が寄せられるそうだが、これらのほとんどは家庭におけるスキップ不足が原因しているとのことであった。「1日4回わが子と握手」「朝起きたらおはよう」などはあたりまえのことなのかもしれないが、その必

要性を再認識させられた。リーダーはいかなる組織にも存在する。しかし、リーダーとは方針を決める役割を持ち、また決断力、直感力、情報収集力が必要であると説明された。不測の事態が起きた時、どう対応できるか。手引き書通りの行動をしているだけでは普通の人で、ただのマネージャーだ。さらにリーダーがやる気を出させる3つの条件とは、相手の気持ちを理解し、自分の気持ちを伝え、モデルとなる(してみせて ゆってきかせて)させてみてほめてやらねば(ひとほうごかじ)と主張された。

最後に、プラスの言葉(助かった 嬉しい ありがとう etc……)を添えると良いという、事実+プラスの言葉を御指導くださり、職場や家庭で良い人間関係づくりに役立てるようにと結ばれた。



Challenge

リーゼンストラローム

痛ッ！「少し深く入りましたか？左側が特に悪いようですね、普段の生活では痛めにくいところですから」鍼治療院での会話である。腰痛再発の原因は？年齢、太り過ぎ、運動不足、夜の営みの増量、不敬なやつらとの付き合い、等々どれもが身に覚えがある。現に腰痛とは長いおつきあいである。しかしながら歩けなくなるほどは今回が初めてである。やはり直接原因はあのまわりつく様な視線と不気味な笑顔の向こうからやってきた勅命にほかならない。その勅命とは「大山リーゼンストラローム大会に出場し取材してこい」というものであった。単なるスキーの取材ならともかく、地元の有力選手はもとより県外からも大学の体育会スキー部も参加する本格的な大会に参加するなど、晒し者になってこいと言っているようなもので、忘年会会の山陰の冬を満喫すると、偽り冬山登山をさせるにも等しい諸行である。

1月12日大会当日、集合時間は8時。7時前に出発したものの大山寺の駐車場は満車。榎原駐車場まで下り連絡バスにて再び大山寺まで、既に7時58分。間に合いそうにないと電話を入れたと既に到着している総務委員会の茅野会員が代わりにエントリーしてくれるという。何とも手回しのよいことで、ほとほと頭の下がる思いである。荷物とスキーを背負い会場の上の原ゲレンデに向かう。そして更に失意のどん底へ誘う光景、連絡リフトに長蛇の列。集合時間はもとより1時間以上も遅刻しそうだ判断、徒歩で行くことを決断した。この決断は後に後悔へと変わったことは言うまでもない。

到着時刻8時45分。開会式は終わり選手はインスペクション（コースの下見）をしている。「おはようございます！」と元気のいい声、茅野会員である。「どげやって来て」「昨日の夜から駐車場に泊



まっていた。朝弱いもんですから」殊勝な心掛けである。説明を受けゼッケンをもらう。あたりを見回すとレーシングスーツに身を包みヘルメットを持った連中がざわついている。どうも茅野会員と私だけがいわゆるもこもこのスキーウエアー

である。既に晒し者状態が始まっており、まわりが自分達2人を笑い蔑んでいるかの様な被害妄想にかられている。何とも情け無い。ゼッケンを隠すようにしまし一般スキーヤーを装いゲレンデへとむかう、実に3年振りのスキーである。リフトに揺られ眼下を見下ろすと少年の部が始まっていた。肩まで入りそうに見えるヘルメットを被り、落ちる様に滑っていく。上手すぎる。そして何より急斜面を攻めるあの勇氣。次々と湧き出る不安を飲み込み出番まで練習する。何本か滑ると既に足はパンパンで腰も重い。身体の要求に応じてやるためヒュッテで休憩し、ビールを流し込むが緊張も不安も一向に流せない。酒量が足りぬと自分勝手に判断し更に日本酒を煽る。酒の力で、もやもやを押さえて込んでいると何となくスタート時間はやってきた。

スタート地点は順番待ちの選手で溢れ、いやがうえでも緊張は高まる。「ゼッケン253番いますか？」コールに茅野会員があわてて列に並ぶ。何故か私のゼッケンは覚えやすい、200と69なのだ。これも誰かの陰謀かしらと馬鹿なことを考えていると茅野会員がスタートして行く、なかなか上手いものだ。あのぶんどと転倒せずにゴールにたどり着くであろう。「ゼッケン269いますか」コールだ。茅野会員の安否はさておき、心の準備をとおいきや自分の順番だ。ワールドカップの中継などで聞くピッピッピーンのリズムが今自分の横でなっている。「転倒だけは避けたい。でも転倒したほうが記事になるかも…わーっえぐれてる！ 転びたくない、ふんばれ、腰に鉄杭を刺されたような痛み、下半身は自分のものでないようだ。ゴール」「ご苦労さんでしたゼッケンお返し下さい」係のおねえちゃんの声、あっけなくレースは終わった。

「硬いですね、針が押し戻されますよ、少し我慢してください。いや～ながくかかるかもしれませんね」盲目の針師は抑揚のない声



で語る。ふと思いつく「回転競技もできたし、次はジャンプなんかいかがですか」委員長の不気味な笑顔。俺はもしかしたら、取り憑かれているのかも、針の次は御蔵いか？腰痛との戦いは始まったばかりである。

1月度委員会報告

政治行政委員会

平成9年1月9日（木） 於：千鳥苑 出席者／8名

内容／社会文化、政治行政委員会合同委員会（新年会）

担当副会長が同じ事もあって、お互いの親睦を図るため、浜、里道両委員長の昨年からの計画が実現できました。

浜委員長の会社保養施設である千鳥苑を借り、里道委員長がカニ・魚を多賀副委員長が野菜等を沢山仕入れて戴き、有志の会員数名で料理、配膳等全てをして手作りの新年会ができました。

岩田副会長の新年の挨拶で始まり、その後カニ鍋を食いながら酒も入り会員相互（中には、コンパニオン）の親睦がより一層深まり時間が経つのが普段よりとても早く思いました。

地域ビジョン委員会

平成9年1月20日（月） 於：米子食品会館 出席者／12名

内容／山陰夢みなと博覧会での衛星放送の企画について、内容を細部に互って検討するとともに、会員全員の皆さんの参画、参加に対する協力体制の方法等について話し合う。又、予算の確保等財政面の計画も立案していく。白熱した議論を交わし時間延長の後、2次会にても白熱する。

経済委員会

平成9年1月27日（月） 於：米子食品会館 出席者／11名

内容／1. 役員会報告
2. 新年会

経営委員会

平成9年1月23日（木） 於：8名 出席者／8名

講師／米子市企画課 課長補佐 皆尾雅人氏

内容／第6次米子市総合計画の概要について
大変興味深い内容であった。

情報メディア委員会

平成9年1月27日（月） 於：（株）さんれいフーズ 出席者／9名

内容／1. 今期活動計画について
2. 4月担当例会について
3. インターネット当会ホームページ閲覧
4. インターネットホームページの作成

指導能力開発委員会

平成9年1月8日（水） 於：うたわなSong Song 出席者／6名

内容／1. 1月例会打ち合せ
2. 新年会

社会・文化委員会

平成9年1月9日（木） 於：千鳥苑 出席者／10名

内容／政治行政委員会と合同によるおたがいの委員会の親ばくを計る

総務委員会

平成9年1月14日（火） 於：米子食品会館 出席者／13名

内容／1. 親睦ボウリング大会についての件
2. 4月レクリエーション例会についての件
3. 北海道視察旅行についての件

広報委員会

平成9年1月9日（木） 於：海潮園 出席者／15名

内容／1. 2月ハンサム編成会議
2. 新年会

西部青年中央会厄落としの会



1月19日(日)西部青年中央会恒例の厄落としの会が、会員20数名の参加のもと、午前11時より勝田神社にて、おごそかなうちに神事がとり行われた。

私自身は、厄落としの会は初めて参加させて頂き、今年1年の厄落としができた思いだったが、その後場所を海潮園に移して、懇親会がおこなわれ、来年の世話人なども決まり会が始まった。懇親会の内容は言えないが最後まで居て本当に心身ともに厄落としができた。

今年の世話人をされた樋口・松田両会員、ご苦労様でした。

でも最後の安藤会員の厄落としはすごかった？

聞いてごしない Part 10

■ハムエッグの歴史：赤っ恥パート1. [フランス編]

パリに添乗した際、朝食を取るために現地ガイドA氏とカフェオーレの香りが漂うカフェへ出かけた。私たちは、そのカフェオーレとクロワッサン、そしてハムエッグをオーダー。ほどなく注文の品が運ばれ、本日のスケジュールを確認しながら食事を。しかし、その時の私の食べ方に、思わず彼の目が点に。私は目玉焼の周りの白身を先に食べ、丸く残した黄身を気持ち良く一口でペロリと平らげたのだ。幼少からの習慣である。

「あなたは、いつもハムエッグをそうやって食べているのか？」の質問に、私は「黄身をこわさずに、一口で食べるのって快感ですよ」とニッコリ。彼は、思わず声をひそめて「悪い事は言わない。せめて外で食べる時だけでも、その食べ方はよした方がいい」と。そして、彼は小声でハムエッグの歴史を語りはじめた。

そもそもハムは、ヨーロッパでは保存食として作られたもの。冬の大切な保存食だから何しろ塩辛い。その為、目玉焼きと焼いてくずした黄身でその塩辛さを中和するのが、そもそもハムエッグの始まりだとか。つまり最初に黄身をくずして、その黄身と一緒にハムや白身を食べるのが正しい食べ方なのだ。切ったメロンの上ののせるのも同じ理由かららしい。その後、私は黄身だけをペロリと食べる事はやめた。

■トイレのサイズ：赤っ恥パート2. [アメリカ編]

アメリカに添乗した際、コーヒーを良く飲む私は、トイレに行く機会が人より少々多い(コーヒーは、利尿作用があるらしい)。公衆トイレは、治安の関係であまり使いたくないので、ある高級ホテルのトイレに入ったところ「小」用の朝顔の位置が高すぎて普通に立ったままだと届かない(ちなみに私は身長168センチ)。

私は、そこで名案を思いついた。便器から少し離れ、放物線を描いて用を足していたら後から入ってきた長身の外人の失笑をかってしまった。

あと身長かホースが5センチ長ければ……。

政治・行政委員会
[赤っ恥太郎]

忘年例会ハンマープライス



1月吉日、商品番号12164 山陰の冬を暖かく過ごす権利を落札された鷺沢・森尾両OBに同行し、ご意見を伺いました。

この商品は、山陰の冬を暖かく過ごすためには欠かせない、暖房に使う灯油ドラム缶1本分200ℓ相当の価格をプリペイカードにしたものです。

「いい買い物をしました。家内も喜んでおり、

家族一同、山陰の冬を暖かく過ごさしていただいております。」と感謝の弁をされた鷺沢OB。なにかしら、一家団欒の風景が思い浮かぶようです。

「世間相場なみの買い物でした。酔った勢いで発声した価格が即決になろうとは……。」と反省しきりの森尾OB。奥様への報告も、「この灯油のポリタンク、みやげに貰ってきたけん。」だけで済まされたとか。それもその筈、両OBの落札価格には、倍・半分の開きがあったのです。どうりでカメラに向かってのVサインにも、元気がありません。

とはいえ、冬の必需品である灯油。両OBともに、この企画に大変感謝されておられました。また、山陰の冬のニューリゾートを楽しむ権利を落札された、釜田会員の同行リポートを楽しみにしておられるようで、リポーターへの激励を受けました。

お忙しい中、取材に快く応じて下さいました両OBにお礼申し上げます。

2月例会案内(半オープン例会)

とき 2月17日(月)
ところ ホテルサンルート米子
演題 働く女性—中国人女性から見た中国と日本—
講師 池延華(チィ・イエンホァ)(中国国際交流員)
担当 社会・文化委員会
※会員企業的女子社員・会員の奥様

2月役員会報告

2月定例役員会が2月3日(月)、米子食品会館に於いて開催された。

当日の主な議題は、次の通りです。

- (1) 2、3月例会開催の件
- (2) 新入会員承認の件
- (3) その他

※尚、詳細については、各委員長までご照会下さい。

連絡事項

夢みなど博チケット販売枚数1,629枚でした。
ご協力ありがとうございました。
尚、2次販売分も事務局にて取り扱っています。

会社変更
藤森秀樹会員
(株)エー・アンド・ビー→(株)ケア・スタッフ代表取締役

名前が変わりました門脇直己会員
門脇→中津尾

編集後記

忘年会、新年会、厄落としと、年末から色々行事が続き、ふと我に返ると仕事如山積み状態。

年度末まで残り2ヶ月。これから一層頑張らなければ4月の昇給に響かず！サラリーマン会員